

# あとがき

当センターでは、研究主題に「求められる資質・能力を育む学習指導の在り方」を掲げ、第20次（2か年計画）の2年次研究に取り組んでまいりました。

本年度は、研究1年次の成果と課題を踏まえ、副主題にある「子どもを主語にした主体的・対話的で深い学び」についてのおさえを見直し、教師がデザインした学びの場において、児童生徒が自らの学びを調整しながら、主体的に思考を深めていくことができる授業づくりを模索してまいりました。6名の研究員が、毎週熱い議論を重ね、上川管内の先生方の日常の実践に寄与し、提案性のある研究となるよう心血を注いできた次第です。

本年度の「センター発表会Ⅰ」では、当センター研究員（旭川市立神楽岡小学校教諭）による授業を公開いたしました。また、研究協力校（旭川市立東栄小学校、旭川市立神居東中学校）においても、熱意ある授業実践を公開していただき、参加された多くの先生方から貴重な御意見を賜りました。これにより、研究理論を具体的に検証・改善することができました。さらに、「センター発表会Ⅱ」においては、初の試みとして北海道教育大学附属旭川中学校の「公開研究会Ⅲ」と共同開催いたしました。当センター研究員（北海道教育大学附属旭川中学校教諭）による授業公開を通して、これまでの研究成果を広く発信することができました。また、この機会は互いの研究理論を深め合う大変有意義な研鑽の場となりました。

この度、これらの成果をまとめた研究紀要第51号をWeb版で上川教育研修センターホームページより広く発信いたします。本研究の遂行にあたり、北海道教育庁上川教育局並びに北海道立教育研究所、旭川市教育委員会の皆様の御指導・御助言、研究協力校の先生方の優れた実践、そして、研究員所属校や参観いただいた先生方の多大なる御支援と御協力に対し、心から感謝申し上げます。

本紀要の内容には、至らぬ点多々あると存じますが、各学校における校内研修はもとより、個人研究や日常実践等に広く活用していただき、多くの皆様から御批正、御指導をいただければ幸いです。

次年度は、第21次研究の初年度を迎えます。上川管内の各学校そして先生方の期待に応え、これまで以上に理論と実践を充実させた研究成果をお示しできるよう全力を尽くしてまいります。

研究事業部長 太田 貴幸

## 主要参考文献

- ◇学習指導要領、学習指導要領解説（平成29年告示、文部科学省）
- ◇初等教育資料、中等教育資料（文部科学省）
- ◇中央教育審議会答申（文部科学省）
- ◇「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）
- ◇上川教育研修センター研究紀要 第43～50号（上川教育研修センター）

## 研究協力校

旭川市立東栄小学校（校長 谷越 秀樹）  
旭川市立神居東中学校（校長 坂東 裕美）

## 上川教育研修センター

所長	石前 聖香	
副所長	貞弘 真悟	
事務部長	北澤 克康	
研究事業部長	太田 貴幸	
研究員	荒木 健地	旭川市立北門中学校
	河野 翼	旭川市立朝日小学校
	林 裕生	旭川市立神楽岡小学校
	林 尚輝	北海道教育大学附属旭川中学校
	相澤 正一	美瑛町立美瑛東小学校
	林 走	旭川市立広陵中学校
指導員	野尻 佳世	旭川市立愛宕中学校
	児玉 考弘	愛別町立愛別中学校
	勝瀬 駿太	旭川市立西神楽中学校
	久須美 克典	旭川市立緑が丘中学校
事務係	笹谷 青子	
	上 光 さゆり	



### 本研究に関わってご助言・ご示唆いただいた指導主事の方々

上川教育局教育支援課学校教育指導班	主任指導主事	蒔田 和樹様
旭川市教育委員会学校教育課教育指導課	主査	栄 耕平様

研究紀要 第51号

求められる資質・能力を育む学習指導の在り方

～子どもを主語にした主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～

発 行 令和8年3月31日

発行者 上川教育研修センター

旭川市 6条通4丁目

電 話 (0166) 24-2501

F A X (0166) 24-2512

E-mail [kami-cen@potato.ne.jp](mailto:kami-cen@potato.ne.jp)